はじめての
せかいの　いじん

ヘレン・ケラー

1 ちいさいころ、
びょうきになり、
みることと
きくことが
むずかしくなりました。



2 サリバンせんせいと
であい、てのひらに
もじを　かいて、
ことばを
おしえてもらいました。



3 「みず」という
ことばが　わかった
ことを きっかけに、
もっと　ことばを
しりたい！と、
たくさん　まなびました。



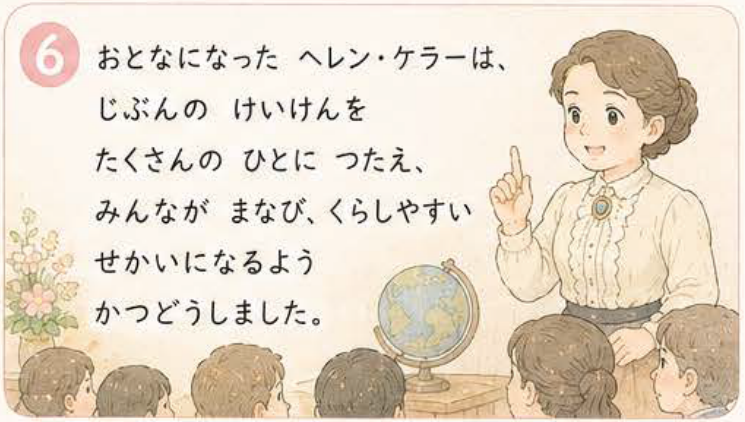
4 ゆびで　もじを
よんだり、くちの
うごきを　さわったり
しながら、
いろいろなことを
まなびました。



5 たくさん　べんきょうして、
だいがくを
そつぎょうしました。



6 おとなになった　ヘレン・ケラーは、
じぶんの　けいけんを
たくさんの　ひとに　つたえ、
みんなが　まなび、くらしやすい
せかいになるよう
かつどうしました。



★　ヘレン・ケラーの　すごいところ！　★

**まなぶことが
だいすき！**

ことばを　しりたい！と
いつも　いっしょうけんめい
まなんだよ。



**なんども
ちょうせんしたよ！**

うまく　できないときも
あきらめずに、なんども
ちょうせんしたよ。



**むずかしいことが
あっても
あきらめなかった！**

じぶんを　しんじて、
さいごまで　あきらめずに
がんばったよ。



きみも　かんがえてみよう！

きみが　もっと　しりたいことは　なに？